

★ ジャガー・ルクルト VIP カクテルフェア & チャリティーオークション・ディナー

スイス高級機械式時計ブランドとして名高い「ジャガー・ルクルト (リシュモン ジャパン株式会社)」によるチャリティーオークションが、5月26日(金)夜、マンダリン オリエンタル 東京にてのVIPをお招きして開催されました。世界的に有名な日本画家であり、子供地球基金顧問でもある千住博氏がデザインした、新作モデル・レベルソ・エクリプスのダイヤルに実際に使用された十二支の原画12枚が出品され、落札総額2,035,000円をチャリティーとして子供地球基金にご寄付いただきました。



★ 三井住友銀行チャリティコンサート「名曲のおもちゃ箱」

5月20日(土)に、千代田区のいきいきプラザ一番町で、三井住友銀行による子供地球基金支援のための、チャリティコンサートが開かれました。同行からは、これまで社員の積立募金であるボランティア基金による、カンボジアやベトナムの子どもたち支援などをいただいておりますが、この日は、同行の合唱団・室内合奏団・吹奏楽団に所属する有志社員により、クラシックからTVアニメの主題歌まで、誰もが気軽に楽しめる音楽が演奏されました。また、ロビーには世界中の子どもたちの絵を展示し、来場した約150名の方々にご覧いただいたほか、募金やチャリティグッズの売上など、合計156,329円を子供地球基金にご寄付いただきました。



★ 子供地球基金/JEN 協働プロジェクト スリランカ支援

インド洋大津波の被害を受けたスリランカ・ハンバントタ地区15村にて、6月17日～24日まで、心のケアを目的としたアートワークショップ実施をJENと協働で行います。被災から1年以上経った今なお残る子どもたちの心のダメージを軽減するワークショップの様子は、次回会報でご報告いたします。

期間：2006年6月17日～24日 地域：スリランカ南部 ハンバントタ地区
プロジェクト協力：特定非営利活動法人ジェン (JEN)

★ 各種 キャンペーン 実施中 ★ ～ペアで子供地球基金イベントご招待他～

01 会員キャンペーン

7月1日～9月30日に、新規会員をご紹介して下さった会員の方には、もれなく、子供地球基金オリジナルグッズ (3,000円相当) をプレゼント。



02 自動引落としキャンペーン

さらに第2弾!すでに会員の方も、これからご入会の方も、上記期間中、会費納入方法を「口座自動引落とし」に変更していただくと、もれなく子供地球基金オリジナルグッズ (3,000円相当) プレゼント。さらに抽選で2組4名様を、11月にエジプト大使館で開催予定のチャリティディナーにご招待します。





第1号キッズ・アース・ホーム in クロアチア

4月5日から11日まで、事務局村井がクロアチアへ行き、第1号ホームの運営状況の確認と子どもたちのアートワークショップを実施しました。

キッズ・アース・サッカーワールドカップ2006 クロアチア vs 日本

いよいよ6月からドイツでサッカーワールドカップが始まりました。6月18日のクロアチア対日本戦に先駆け、クロアチアと日本の子どもがキャンパス上で対戦！第1戦は長い長いキャンパスの上で。寝転がってボールを蹴ったりヘディングしたりと好きなポーズをとり、輪郭を描きます。その後、顔や手足を描き、クロアチアのユニフォームを着せて完成。第2戦は、あらかじめ緑と白の絵の具で描いておいた、ミニチュアサッカーフィールドの上で。子どもたちが筆と絵の具で描いた11人の選手たちは、小さいながらもとても正確で、今にも走り出しそうなほど。



これからこの2つの作品に、日本の子どもたちが日本選手を描き入れ、国際交流試合がキックオフ。さてさてその結果は？

このワークショップ以外にも、「友だちはどんな顔？」の大きな作品、「あなたはだあれ？」名刺プロジェクトを、2月に行ったベトナムの子どもたちからバトンタッチされクロアチアでも行いました。

第1号ホームの現状とこれから

現在、現地 NGO の Suncokret の協力のもと、トブスコ市とグボーズド市という隣接する2つの市で、地元根付いた活動を行っています。戦後10年以上になりますが、未だに、グボーズド市民の約70%は失業中で、それによりアルコールやドラッグに依存し、家庭内暴力を振るう親、子どもの教育に無関心な親が多く存在します。まずは髪を洗う、



歯磨きをするなどの基本的な生活習慣を身につけさせる必要があります。また、大人社会では異民族間の差別意識が消えず、偏見や閉鎖的感情が強く残っています。ホームでは、さまざまな民族のスタッフが仲良く働き、子どもたちに接しているため、子どもたちは差別意識を持つことなく、自然と良い関係を保つことができている。戦争の二次的被害者である子どもたちが、心のトラウマを無くし、これからの社会を変えていく希望を持てる環境をつくる必要がある。

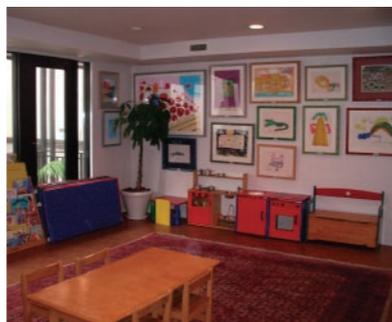
カンタボバ小児科病院レポート Vol.2

(前号のつづき)

外科病室で、体の80%の火傷を負い、全身を包帯に巻かれた子どもに会いました。皮膚移植などによってこの子どもの治療が可能なのは、カンボジアではこのカンタボバ病院だけです。もしもカンタボバ病院が有料であったら、現在病院に来ている80%の人はその治療費を支払うことができないと言います。しかし、このようなひどい貧困状況を、カンボジアの政府や保健省は、国のイメージダウンをおそれて懸命に隠そうとするため、援助を受けられずにいます。今回の新しい病院は、スイスの国民から20フランずつ集められた寄付金で建てられました。私たち日本人のほとんどは、風邪をひけばすぐに病院に行くことができる環境にいます。私たちは彼らのためにどのようなことができるでしょうか。日本の全国民が1円ずつ出しあったら、1億2000万円もの金額になるのです。

キッズ・アース・ホーム東京 (移転後)

前号でもご案内したとおり、3月27日、事務局の移転に伴い、キッズ・アース・ホーム東京も新しい場所へと移りました。以前のギャラリーより広い空間に、より多くの絵を飾り、ホーム全体がアットホームな雰囲気となりました。伸び伸びと自由に絵を描けるワークショップスペースも開設しております。場所は以前のホームから徒歩10秒。ぜひお子さんと一緒に、大人同士でもお気軽にお立ち寄りください。



キッズ・アース・ホーム東京に中学生の訪問者

新しいキッズ・アース・ホーム東京へ引越してから約1ヶ月。福島県より、6名の中学生がやってきました。この6名は現在、国際理解をテーマに学習中。「これまでの活動の中で嬉しかったこと、苦労したことは？」、「絵は何力国から集まっているか？」、「絵の使い道は？」といった質問がとびました。また、中学生にもできるボランティアとして、募金や地元の子どもの絵を集めることなどを伝えると、自分たちに何ができるか、真剣に考えてくれている様子でした。ギャラリーに展示された絵の中からお気に入りの一枚を見つけたり、その絵の前で撮影した後、最後はキッズ・アース・ホームの前で集合写真を撮りました。学校に戻ったら調べたことを発表するというこの6名。今回の中学生の訪問をきっかけに、福島でも子供地球基金の活動を知ることが一人でも増えることを祈っています。



日医大小児病棟を訪問

4月5日、キッズ・アース・ホームは日本医科大学付属病院(以下・日医大)を訪れ、パペットショーを行いました。昨年クリスマスにプレゼントをお届けしたのがきっかけで、初めて開催が実現しました。パペットで楽しませてくれたのは、子ども番組でもおなじみのジャニカ・サウスウィックさん。パペットはもちろん、子どもたちは英語にも興味のある様子。プレイルームにはたくさんのおもちゃが集まり、ジャニカとパペットからの英語クイズにも得意そうに答えていました。また、ある子はベッドの上でジャンプしながら、自分のぬいぐるみを抱いてパペットとおしゃべりをしました。中学生の男の子は、お部屋でジャニカと英語でお話。先生や看護師さんも驚くほど、とても上手にそして堂々と話していました。あっという間に時間は過ぎ、帰る時間に。最後は次々にサインと記念撮影を頼まれ、名残惜しい時間となりました。



天王洲で展覧会開催

5月15日～6月25日の間、天王洲アイルにあるレストラン&バー「ティ・ワイ・ハーバーブルワリー」にて展覧会を開催しました。運河沿いに建ち、倉庫を改装してつくったレストランは天井も高く、開放感のある素敵な空間です。その壁を子どもたちの絵が飾りました。そんな大人な空間にも子どもたちの絵はぴったりとはまり込み、食事にいらっしやるお客様にメッセージを発信します。

マンスリー・チャリティイベント

これまで毎月第一木曜日にチャリティワインパーティー開催してきましたが、事務局移転を機に新たなコンセプトでリニューアルいたしました。キッズ・アース・ギャラリーでのカジュアルな集まり、ちょっとおしゃれなレストランでのお食事、少人数、大人数・・・いろいろな趣向を凝らし、マンスリー・チャリティイベントを皆様にご案内いたします。場所や規模は変化しても、皆様に楽しいひと時を過ごしていただく、チャリティイベントであることに変わりはありません。その第1弾が、今回「ティ・ワイ・ハーバーブルワリー」での展覧会開催に合わせたチャリティディナーでした。28名様限定で、レストランの洗練されたお食事と、チャリティワインパーティーでも好評のキッズアースワインを楽しんでいただきました。(収益:93,530円)

ご協賛

- ・(株) ジャパン・アーツ (コンサートチケット)
- ・(株) ルミエール (キッズ・アース・ワイン)



これまでの Fundraising 総額 (15回分)
¥ 1,715,603

マンスリー・チャリティイベント分



コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.13

千住 博
日本画家 / 子供地球基金顧問

私には3人の子どもがいます。ニューヨークの公立学校に学んでいます。私の拠点がニューヨークだからです。しかし世界中で様々なプロジェクトがあり、年の半分近くは日本やヨーロッパなどを飛びまわっています。それにニューヨークにいても早朝から深夜までずっとアトリエにこもりっきりで、なかなか子どもたちと遊んだりもできません。「母子家庭みたい」と妻にも言われます。そのような日々の中、先日子どもと話をしていたら「普段は英語で夢を見るけど、パパが帰ってくると日本語で夢を見る」と11歳の次男が言ったのです。私は子どもとはかくあるもの、と感じ、胸のつまる思いがしました。これは私の子どもだけの話ではない、地球上全ての子どもたちが様々なことから影響を受け、じっとそれを心の内にしまいこみ、受け止め、そしてだまって見守り生きているのだ、と。今子どもたちに対して私たちにできる事は何か。何をしなくてはならないのか。子どもを取り巻く信じられないような事件、事故が後をたない21世紀、この事をしっかりと考えてみる事は、どうしても必要なこと、と感じるのです。

NEW MEMBERS

新規にご入会いただいた方々です

(個人会員)
谷 理香 様 / 田部井 久江 様
匿名3名

(団体会員)
宗教法人 本山 有清寺

(里親)
大野 仁之 様 / 福田 るみ 様

※ベトナムのキッズ・アース・ホーム(ストリートチルドレンの学校)へ通う子どもたちの里親の方々です。

(2006年3月1日～5月31日現在・五十音順)



展覧会

●東京・天王洲アイル

5月15日(月)～6月25日(日)
ティ・ワイ・ハーバーブルワリー

●東京・千代田区

5月20日(日)
三井住友銀行主催コンサート会場
「いきいきプラザ一番町」

●埼玉・川口市

10月21日(水)～11月19日(日)
川口市立アートギャラリー アトリア

●東京・世田谷区

7月19日(水)～8月6日(日)
沼田絵本美術館

●東京・港区

9月7日(木)～9月20日(水)
スペイン大使館

●横浜・青葉区

8月21日(月)～9月9日(土)
アートフォーラムあざみ野

